

## 新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和3年5月31日（月）

午前10時00分 開会

午前11時35分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（10名）

委員長	呉屋 等
委員	伊佐文貴
委員	—
委員	濱元朝晴
委員	知念秀明
委員	桃原 朗

副委員長	伊佐哲雄
委員	又吉 亮
委員	—
委員	宮城 司
委員	屋良千枝美
委員	伊波一男

議長	上地安之
----	------

○ 欠席委員（2名）

委員	上里広幸
----	------

委員	宮城 力
----	------

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（2名）

健康推進部 次 長	松本勝利
--------------	------

健康増進課 保 健 師	諸喜田 祐立
----------------	--------

○ 参 考 人（0名）

○ 議会事務局職員出席者（2名）

庶務課長	仲村厚子
------	------

主任主事	渡嘉敷真
------	------

○ 協議案件

新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

# 新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会 会議録（要旨）

令和3年5月31日（月）

○呉屋等 委員長 ただいまから新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前10時00分）

## 【協議事項】

新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

（健康推進部次長、資料について説明を行う。）

○伊佐文貴 委員 ワクチンの廃棄はどういう経緯で生じるのか伺いたい。

○健康推進部次長 ワクチンはマイナス75度で保管されており、常温に戻した後、生理食塩水と希釈してから接種を行う。ワクチンの抜取りの際に適正な量に至らなかったり、取りすぎてしまうなどによって使用できないワクチンとなってしまうことがある。

○伊佐文貴 委員 通常の予防接種でも起こりうることと理解してよいか。

○健康推進部次長 そのとおりである。他市でも同様のことが発生しているが、貴重なワクチンを廃棄しないよう努めているところである。

○健康増進課保健師 注射器の中に空気が入りすぎており、看護師によって判断が分かれたため、大事を取って廃棄した経緯がある。1つのバイアルから6本取れるようになってからは量がぎりぎりなので医療機関でも数件はそのようなミスが出ると伺っている。現在は看護師の中でリーダーを決め、役割を固定化するなどして改善しており、直近での廃棄は非常に少ないか、ゼロの日もある状況である。

○伊波一男 委員 集団接種会場での苦情について伺いたい。

○健康増進課保健師 予約が取りづらい、駐車場がどこか分かりにくいなどの苦情もあったが、利用者からはいい声の方が多い。予約に関しては、2回目の接種予約を会場で受付できるように改善してからは大変評判がいい状況である。また、会場の駐車場の件についても、誘導員や看板を配置するなど改善を図っている。

○伊波一男 委員 接種後の待機中にトラブルなどはなかったか伺いたい。

○健康推進部次長 昨日までに副反応等による救急搬送はない。ただし、高齢の被接種者がたんが絡んで搬送されることはあったが、副反応はなかったとのことである。

○伊波一男 委員 会場で運営に携わっている職員の接種は済んでいるのか。

○**健康推進部次長** 余剰ワクチンが発生した際に職員の接種を行っており、約8割の職員が接種している状況である。

○**伊波一男 委員** 運営する職員の数等について伺いたい。

○**健康推進部次長** プロジェクトチームの職員9名、会計年度任用職員4名の合計13名で対応している。会場には9名が配置されており、水、木、日曜が接種日となっているが、ローテーションの中に休みを入れるなどして業務の質の確保に努めたい。医師、看護師については中部地区医師会に委託している。在宅の看護師、保健師については報酬等をお願いしている。その他のスタッフについても民間に業務委託しているが、できるだけスタッフに変更がないようにすることで熟練度を上げるなど市民が安心して接種できる環境の整備に努めたい。

○**伊佐哲雄 委員** 集団接種会場では1日当たり700名程度を上限と見込んでいるのか。

○**健康推進部次長** 5月9日、12日は接種の始めのほうだったため、様子を見るために200名程度の規模で実施していた。5月16日以降は日曜と水曜は午前300名、午後400名で、水曜は午後400名として接種を行っている。

○**伊佐哲雄 委員** 今後も同様の人数で接種を行う予定か。

○**健康推進部次長** 医師や看護師の確保が難しくなっている状況も報道されており、接種可能人数の確保に努めたい。

○**伊佐哲雄 委員** 接種に関するスタッフが増えれば接種も増えると理解してよいか。

○**健康推進部次長** ニーズは高いと考えているため、中部地区医師会とも相談したい。また、個別接種も開始しているため、その状況も勘案してまいりたい。

○**伊佐哲雄 委員** 接種キャンセルの対応について伺いたい。キャンセル待ちリスト等を作成している自治体もあると伺ったが、本市についてはいかがか。

○**健康推進部次長** キャンセル待ちリスト等を作成する業務的余裕がないため、作成には至っていない。ワクチンは解凍して打てる状態にしてから6時間以内に接種する必要があるため、余剰が発生しそうな状況においては、高齢者の接種に付き添いで来られている方や職員等へ接種するなどして対応している。

○**伊佐哲雄 委員** 報道によれば、国は既にワクチンの確保を完了しつつあり、あとは会場で接種をどれだけできるかの問題になるとのことであるが、供給に耐えられる体制が整っているのか伺いたい。

○**健康推進部次長** 国からは6月中には高齢者分を確保し、7月末までには供給すると伺っている。必要なワクチンが十分に供給されるものと見越して対応を行っている状況である。

○**知念秀明 委員** インターネットでの予約は非常に簡単であり、好評と伺っているが、

電話予約との割合はどうなっているのか。

○健康推進部次長 第1回目の予約枠についてはインターネットと電話を区分することなく受付を行ったところ、インターネット予約がかなり多くなり、電話による予約枠がなかり少なくなったことから2回目からは枠を半数ずつに設定した。現在、10回線で電話予約を受け付けているが、一日当たり700程度が限界であり、残りはインターネット予約の枠として受付を行っている。

○知念秀明 委員 電話が繋がりにくいとの指摘もあるが、改善は図るのか。

○健康推進部次長 回線数は受託先の問題もある。当初は2万1,000名に対して少ない枠の予約を取っていたが、枠が埋まってこれば対象者も少なくなってくるため、少しずつ改善されると考える。担当課としても自治会や老人センター等へ情報提供を行うなどして改善を図っているところである。近隣市町村の電話回線については、沖縄市が10回線、うるま市は5回線に対応していると記憶している。

○知念秀明 委員 現場のスタッフの内訳について伺いたい。

○健康増進課保健師 職員5名、会計年度任用職員4名、会場設営の委託業者が20名、在宅保健師が多い時で9名、医師5名、看護師10名となっている。

○知念秀明 委員 資料を頂きたい。

○健康推進部次長 資料を提供してまいりたい。

○屋良千枝美 委員 個別接種の状況やスケジュールについて資料を頂きたい。

○健康推進部次長 予約方法などについて医療機関との調整を進めている状況である。調整を行っている段階であり、市報等への掲載は難しいと考える。調整が済み次第、自治会等へ資料を配布するなど周知に努めてまいりたい。

○屋良千枝美 委員 個別接種は6月から開始されると伺っていたが、現在調整中ということで、7月からは多くの医療機関で開始されると認識してよいか。

○健康推進部次長 一斉に行うことは難しいと考えるが、6月中にできるところから順次開始してまいりたい。7月末までは高齢者への接種を優先してまいりたい。

○知念秀明 委員 市外にかかりつけ医がいる市民がその医療機関で接種を行う可能性もあるが、どう把握していくのか伺いたい。

○健康推進部次長 かかりつけ医での接種については把握していない。あくまで個別接種とは違うものと認識している。

○知念秀明 委員 二重予約が発生することはないか。

○健康推進部次長 本市では65歳以上にしか接種券を送付していない。大規模接種会場は運営主体が異なるため、県内にも設置されることがあれば調整が必要と考える。

○上地安之 議長 65歳以上への接種は7月末を見込んでいるのか。また、個別接種が

開始された場合、集団接種会場の医師や看護師の確保に影響はないのか伺いたい。

○健康推進部次長 高齢者インフルエンザの接種率を参考に65%を見込んで接種者を算出しており、それに基づけば7月末には65歳以上の接種は完了するが、新規感染者や重症者の増加により希望者が増加することも想定して対応を検討している。医師、看護師の確保については、現在、中部地区医師会に委託しているが、新規感染者数の増加等で派遣が厳しくなっていると伺っており、不足する懸念はある。同医師会及び周辺市町村とも連携しながら進めてまいりたい。

○上地安之 議長 65歳以下の方の受付はいつ頃を予定しているのか。

○健康推進部次長 国から示された優先順位は、65歳以上の次は基礎疾患のある方と続くが、市町村に順位の決定を委ねるとの報道もされており、状況を見ながら検討しているところである。

○伊佐哲雄 委員 本土では離職した看護師を募り、応募もあったが活用に至っていない例もあると伺った。本市においてはどのようになっているか伺いたい。

○健康推進部次長 本市では中部地区医師会に委託している。今後、集団接種に従事する医療スタッフが不足するなどの課題が発生した場合は各市町村とも連携して潜在看護師等の確保などの課題解決に向けてどのようにすべきか検討してまいりたい。

○伊佐哲雄 委員 行政として課題解決に向けた情報交換を行うネットワークは構築されているのか。

○健康推進部次長 中部地区事務研究会として9構成市町村で意見交換している部分はあるが、集団接種の実施や個別接種の準備等を進めるのに注力しているため、なかなか協議を持つことは難しいのが現状である。ただし、他市町村の事例や報道等はしっかり確認しており、改善できる部分は改善に取り組んでいる。

○又吉亮 委員 当初は電話予約とWeb予約の枠を分けていなかったため、Webが多くなってしまったが、その後、電話予約は1日当たりの受付可能数700件とし、残りはWeb予約の枠としたと伺ったが、電話予約とWeb予約の枠を振り分けた理由といつ頃からそういった運用になったのかについて伺いたい。

○健康推進部次長 第1回目の予約は4月26日に予約枠1,000に対して募集したが、高齢者の方にとってはWeb予約がかなり難しいと判断し、2回目以降は半分ずつの枠で実施した。5回目の予約からWebが1,000、電話600の枠とし、実績を踏まえて6回目以降から電話予約が700まで対応できるということで残りをWeb用の枠として運用している。

○又吉亮 委員 1,700がWeb枠でその他に電話予約分があると理解してよいか。

○健康推進部次長 6回目の予約においては、2,456枠のうち、電話予約が708でWeb

b 予約 1,748 枠として運用を行った。

○又吉亮 委員 64 歳以下の接種においては Web 予約枠を増やす必要があると考えるが、どのように対応するのか伺いたい。

○健康推進部次長 他市町村の動向や環境、コールセンターの状況も確認しながらどういった方法で予約を取るのか検討してまいりたい。

○伊波一男 委員 個別接種はいつ頃開始できるか。見込みを伺いたい。また、予約方法はどのようになるのか。

○健康推進部次長 今週末か来週の頭までには始めたいと考えているが、医療機関からは問合せが殺到して業務にならない状況にならないかとの懸念が示されている。医療機関によっては市のコールセンターに予約業務をお願いしたい、かかりつけ患者のみに接種したいなど様々な意向があるため、現在調整を行いながら準備を行っている状況である。

○伊波一男 委員 市民から予約時期やいつ頃から接種できるかとの声が大きくなっている。見込みでもよいので、いつ頃から可能か答弁できないか。

○健康推進部次長 個別接種は調整が整った医療機関から順次開始していくことになる。可能な限り速やかに公表してまいりたい。

(委員長交代あり)

○呉屋等 委員 28 名の方がキャンセルしたとの資料があるが、事前に連絡があった方は何名いたか伺いたい。

○健康推進部次長 資料に記載されている「キャンセル等」には、予診等を行った結果、接種できなかった方も含まれているが、手元に資料がないため答弁できない。

○呉屋等 委員 電話や Web が繋がりにくい状況であるため、予約のキャンセルもできない状況になっている。そのため、急なキャンセルが発生し、会場のスタッフは他に接種できる方を探す業務に追われている状況も見られた。内規で構わないのでキャンセルが発生した場合の対応方法などを定めておくべきではないか。また、キャンセル専用の回線を準備することやキャンセル方法の周知も行う必要はないか。

○健康推進部次長 余剰が発生した場合は、会場内のスタッフや医療従事者へ接種している状況である。現在、10 回線で予約を取っている状況であるが、健康増進課等のその他の電話もつながりにくい状況になっている。キャンセル方法の周知等についても取り組んでまいりたい。

○呉屋等 委員 県外では医師の他、歯科医にも接種業務を広げようとする動きがあると伺っているが、本市においてはどのようになっているのか伺いたい。

○健康推進部次長 集団接種については中部地区医師会に委託している。接種業務を

行う医師が足りない状況になった場合は何らかの措置を検討する必要があると考えている。今後、医師会とも調整しながら検討してまいりたい。

○呉屋等 委員 本市のキャンプ瑞慶覧には在沖米国海軍病院があり、そこには日本人の医療スタッフもいるため、そちらに協力を求めることも検討してはどうか。

○健康推進部次長 日本と米国の医師法等は異なると考えており、現時点でどのような課題があるか把握できていない状況である。ワクチン接種に当たっては、中部地区医師会とも連携しながら調査検討してまいりたい。

(委員長交代あり)

○呉屋等 委員長 本件については質疑を終結してよいか。

(「異議なし」という者あり)

---

○呉屋等 委員長 休憩いたします。(11時18分)

○呉屋等 委員長 再開いたします。(11時20分)

---

○呉屋等 委員長 他に協議したい事項のある委員はあるか。

○桃原朗 委員 5月9日から23日までの集団接種会場での状況について確認したところであるが、6月定例会開会前までに個別接種の状況を確認しておきたい。資料等を当局へ請求いただきたい。

○呉屋等 委員長 議会事務局を通して対応してまいりたい。

今後のことについてであるが、ワクチン接種の状況やその他の施策の状況などさらに調査を行う必要があると考えている。他に確認したい事項があれば次回の委員会で担当部署や参考人を招致することも可能であるが、各委員から御意見はあるか。

○伊佐文貴 委員 PCR検査の拡充なども確認すべきではないか。

○議会事務局 6月定例会中に特別委員会を開催する場合、一般質問の対応や接種業務など当局担当部署の負担が大きく、対応が難しくなることも予想される。定例会中は開催回数を控えるなど配慮をお願いできないか。

○伊波一男 委員 定例会で多くの議員から新型コロナウイルスに関する質疑や質問がある。その答弁を確認した上で不足があれば定例会終了後に委員会を開いて確認するほうがよいのではないか。

○呉屋等 委員長 それでは、次回の委員会は定例会最終日の議会終了後に開催することとしたい。

---

○呉屋等 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻(午前11時35分)